



JMSアダプタのご紹介

目次

■ JMSアダプタ

- JMSアダプタとは
- 連携イメージ
- 利用イメージ
- アダプタ機能一覧
 - ・ メッセージ受信処理
 - ・ メッセージ送信処理

JMSアダプタ

JMSアダプタとは

■ メッセージング・ミドルウェアとの連携が可能

疎結合分散通信形式のひとつである「JMS (Java Message Service) API」準拠のアプリケーションにメッセージを送受信するためのアダプタです。

JMSアダプタは1つのアプリケーションへ送信を行うポイント・ツー・ポイント型の通信タイプ(キュー接続)と複数のアプリケーションに送信を行うパブリッシュ/サブスクライブ型の通信タイプ(トピック接続)、双方をサポートしています。

● ポイント

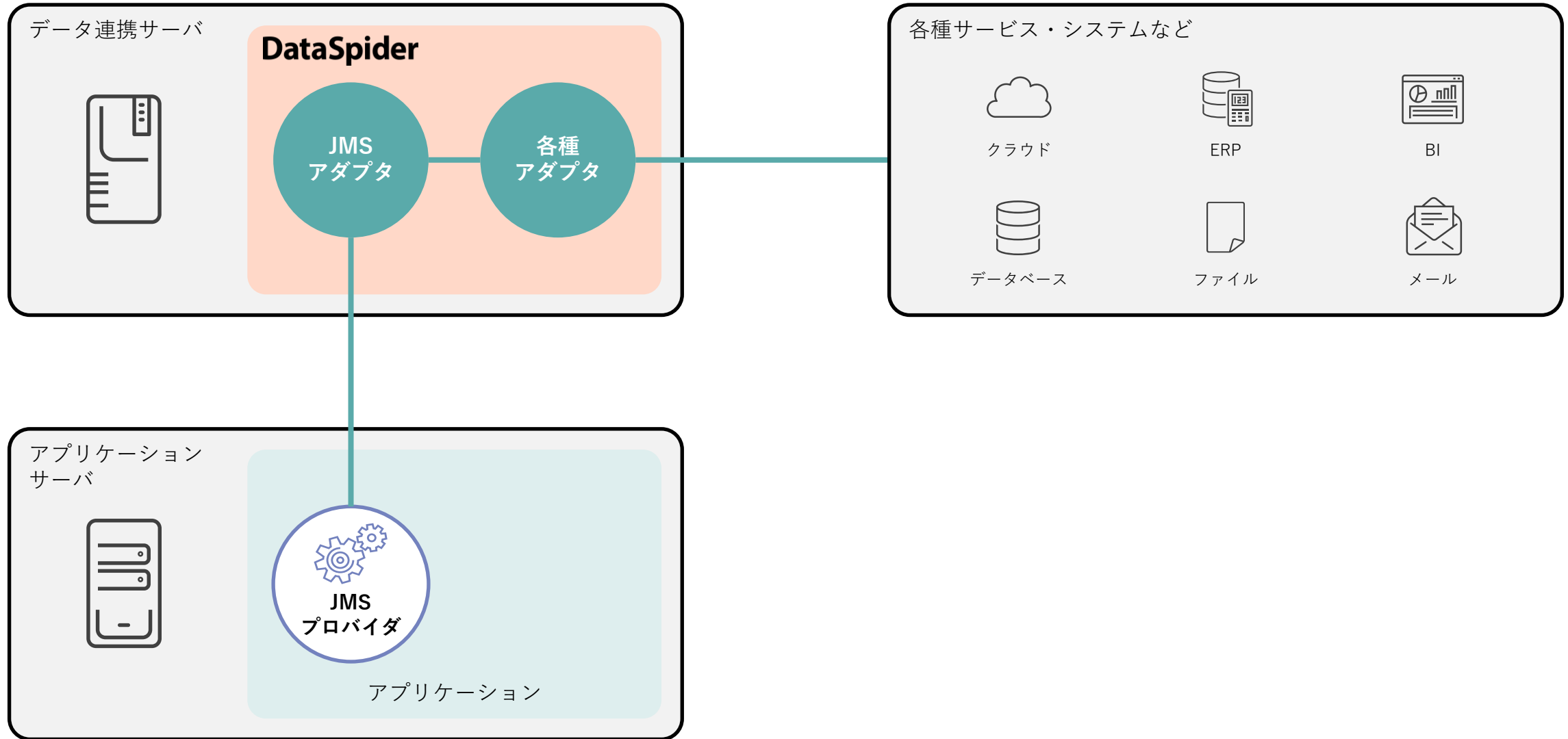
DataSpiderなら、JMSアダプタを利用してJava EE準拠のアプリケーションサーバと非Java環境のデータ連携が可能です。

- メッセージを受け取り、後続のシステムへ加工して受け渡すことが可能
- JNDIのネーミングサービスを使用し、さまざまなJMSベンダーの製品に対応

※注意事項

- 本アダプタはJMSの一般的な方式により、メッセージの受信・送信を行っています。
接続するJMSサーバや使用するクラスライブラリによっては、受信・送信を行えない場合があります。

連携イメージ

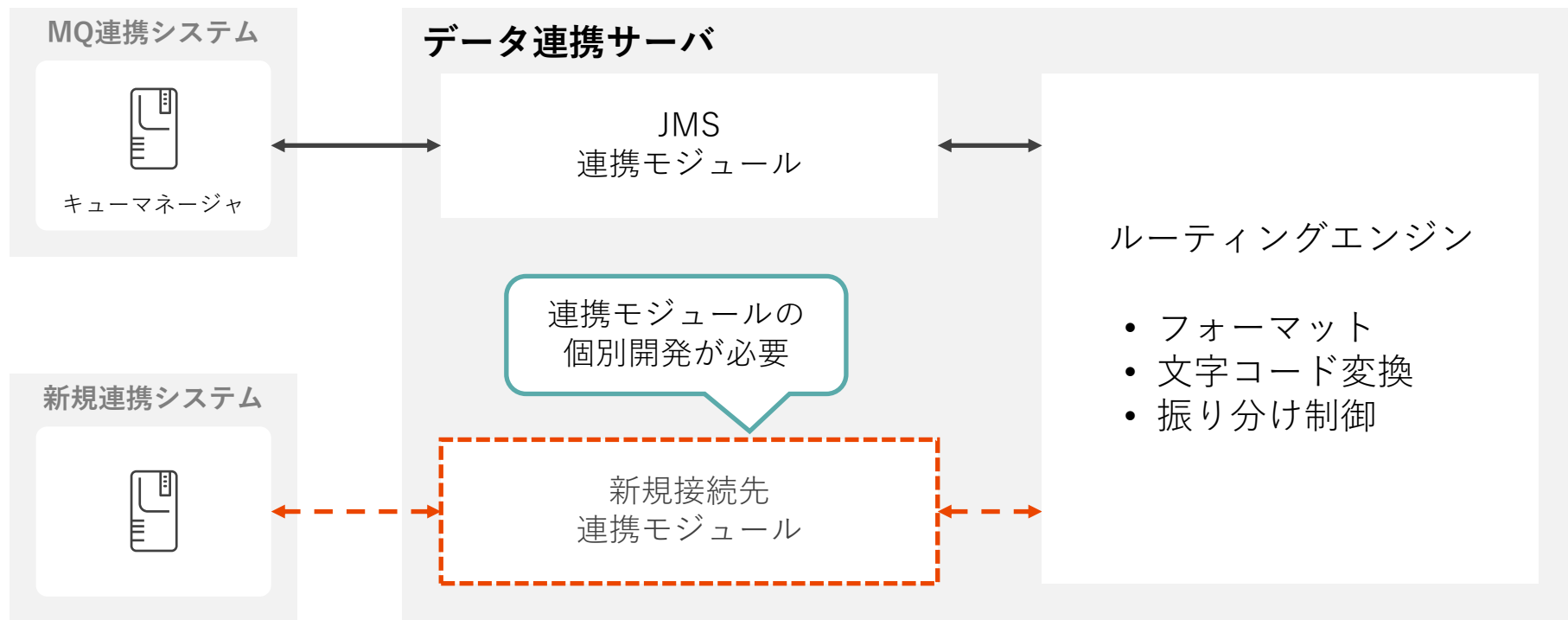


利用イメージ（課題）



独自に開発したデータ連携システムを運用しているが、新たな接続先を追加するための追加開発が負担となっています。

JMSを利用したデータ連携システムを運用していますが、新たな接続手段を追加する場合、その都度、追加開発が必要のため負担となっています。今後の利用拡大を考慮し、拡張性のあるシステムへのリプレイスが必要です。

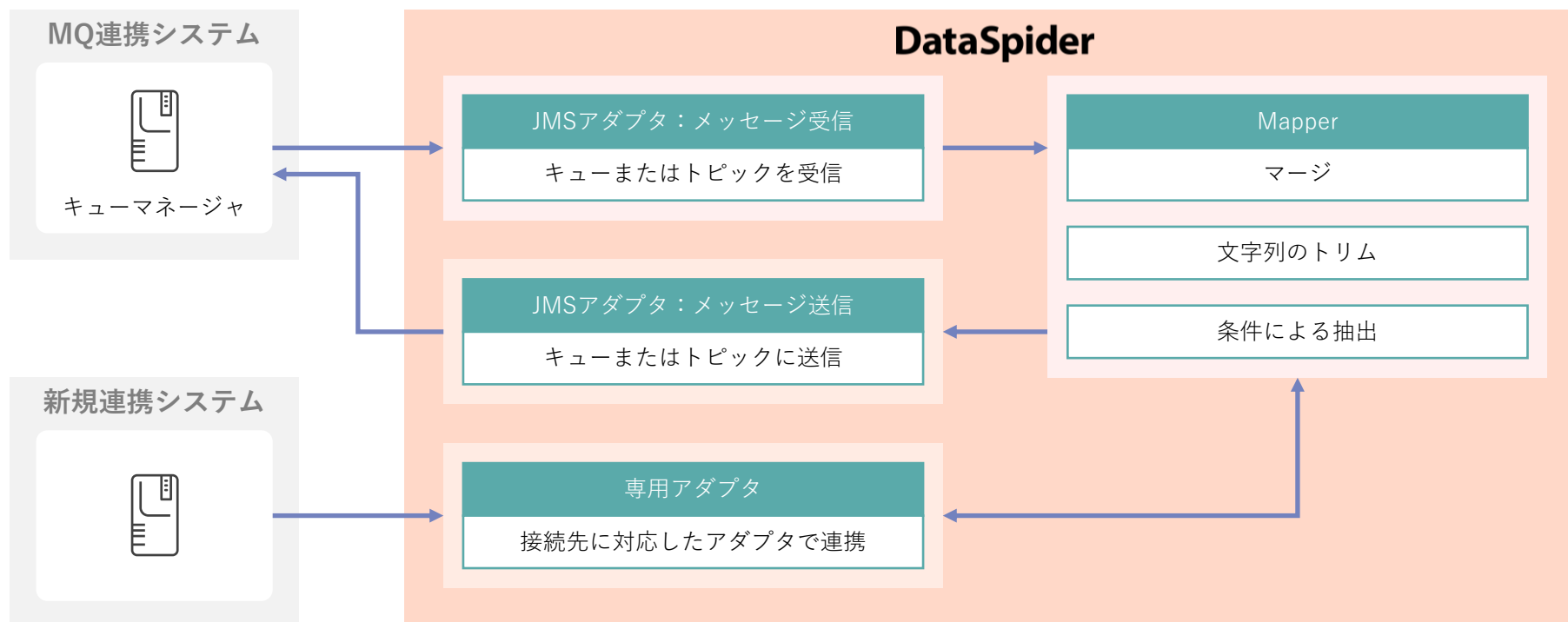


利用イメージ（解決）



JMSアダプタを利用することでインターフェースを統一し、新たな接続先の追加にもノンプログラミングで対応出来、開発運用の負担を軽減することが可能です。

DataSpiderなら、JMSを含む多種多様な接続先に対応しています。

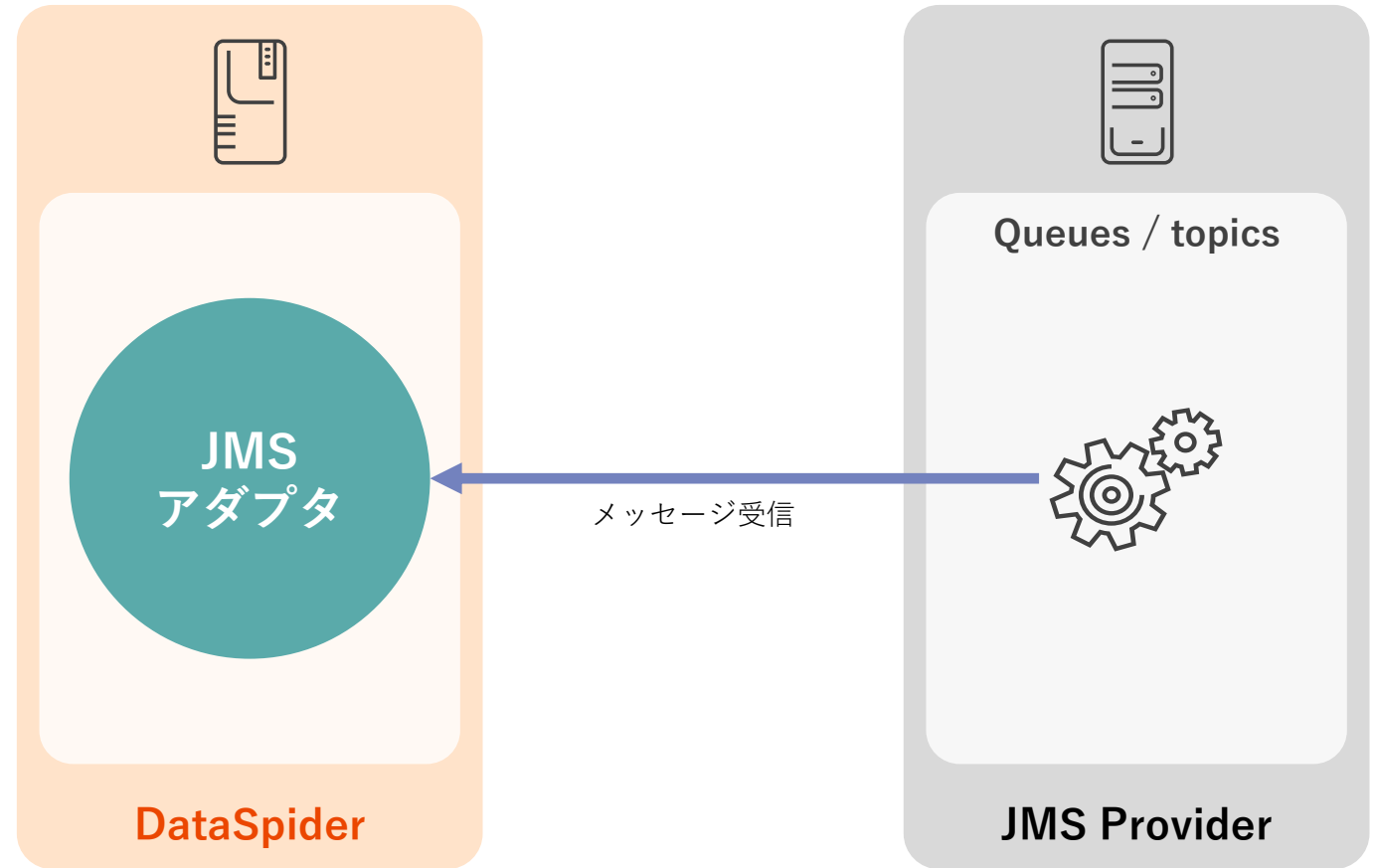
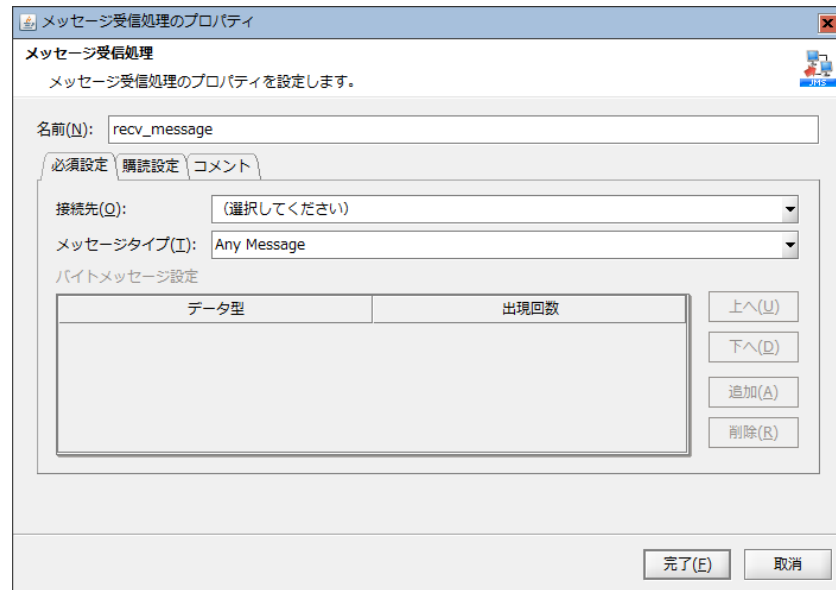


アダプタ機能一覧

種別	名称	概要説明
処理	メッセージ受信処理	JMSプロバイダのサーバ上にあるキューまたはトピックからメッセージを受信します。
	メッセージ送信処理	JMSプロバイダのサーバ上にあるキューまたはトピックにデータを送信します。

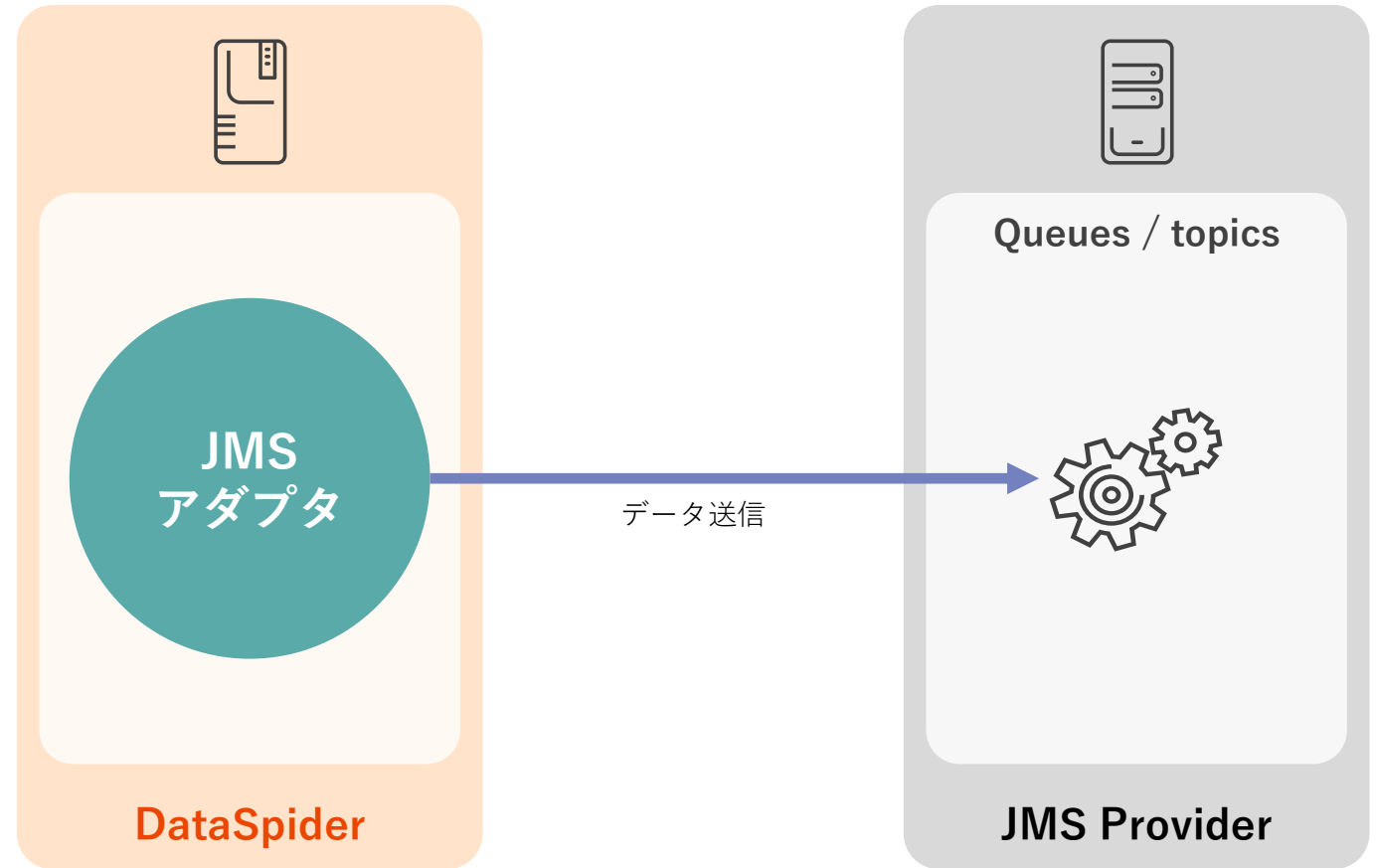
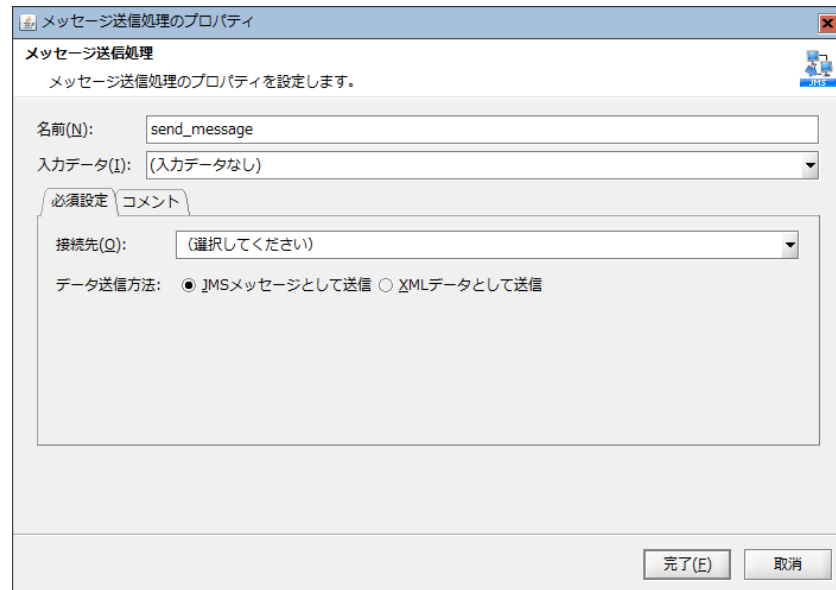
メッセージ受信処理

JMSプロバイダのサーバ上にあるキューまたはトピックからメッセージを受信します。



メッセージ送信処理

JMSプロバイダのサーバ上にあるキューまたはトピックにデータを送信します。





< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。